【カリキュラムの概要】

1年次

- 基礎ゼミⅠ・Ⅱ
- 物理学Ⅰ
- 物理学Ⅱ
- 物理学基礎演習Ⅰ・Ⅱ
- 力学
- 物理数学Ⅱ（ベクトル解析など）
- 自然科学のための数学Ⅰ・Ⅱ
- 物理学実験
- 実験的に物理学を研究していく力を養うための科目
- コンピュータを使って研究を行う技能を養うための科目

2年次

- 力学演習
- 電磁気学Ⅰ・Ⅱ
- 波動論
- 解析力学
- 物理数学Ⅰ（線形代数など）
- 物理数学Ⅳ（フーリエ解析など）
- 物理実験学
- 物理実験Ⅱ
- エレクトロニクス入門
- プログラミング入門
- 数値解析演習Ⅰ
- 物理学トピックスⅠまたはⅡ

3年次

- 熱力学
- 原子物理学
- 相対論
- 初等量子力学
- 物理数学Ⅲ（複素関数など）
- 物理実験Ⅲ
- 物理学基礎実験
- 数値解析演習Ⅱ
- 物理学トピックスⅠまたはⅡ
- 自然を研究していく中で必要となる数学的能力を養うための科目

4年次

- 統計力学
- 宇宙物理学
- 量子力学
- 流体力学
- 物性論
- 統計力学特論
- 一般相対論
- 量子力学特論
- 物理実験Ⅳ
- 卒業研究

各研究室に配属されて、それぞれのテーマで研究します。

研究室は、大きく分けて

理論系 { 基礎物理学 / 物性理論物理学

実験系 物性実験物理学

の3分野があります。

研究室配属は、4年次の最初に決定します。

- 必修科目
- 必修ではないが是非取って欲しい選択科目
- 選択科目
- 実験系推奨科目
- 理論系推奨科目

1年次には、共通教育と並行して、専門での勉強の基礎となる物理と数学を学びます。

2年次には、現代物理学の基礎である古典物理学を中心とした専門的物理を学びます。

3年次には、量子力学、統計力学、相対論等の現代物理学を学び、科学技術の基礎と応用の力を身につけます。

4年次には、これまで学習した現代物理学の知識と概念を礎として具体的な目標について理論的・実験的に卒業研究を行います。
研究の過程で、科学技術者として必要な普遍的知識、柔軟な論理的思考力、問題解決能力、普遍的考え方が身につきます。